

旧本庁舎を復元した

復元棟 特集



旧本庁舎の歴史と復元までの経緯

旧本庁舎について

設計は川崎市技師建築課長の元田稔氏で、その後、設計事務所を開設し多くの教会建築を手掛けました。

施工は地元企業の直喜鋳鋼鉄工所が請負い、昭和13年に竣工しました。

平成27年度に本庁舎としての役目を終えるまで県内唯一の戦前創建の現役市庁舎でした。

文化財としての価値

平成24年の神奈川県教育委員会による「神奈川県近代化遺産」において「特に重要と認められる物件」と位置づけられ、文化財として一定の価値があるとされていました。



区画整理直後の市役所通り

建替えの経緯

旧本庁舎は市民の皆様などから保存を要望する声もいただきましたが、耐震性能が著しく不足しており、耐震補強をして保存することは非常に困難な状況でした。このような状況のなか、平成26年度から27年度にかけて、学識経験者や市民代表からなる「川崎市本庁舎等建替基本計画検討委員会」において議論を重ね、旧本庁舎は一旦解体し、できるだけ部材を再利用しながら竣工当時の姿を復元した「復元棟」として新築することとしました。

第2次世界大戦

防空偽装を施し、空襲の被害を逃れ、周囲が焼野原となる中、時計塔が戦災復興の希望となりました。



平和館所蔵

昭和25年 旧本庁舎東館増築

2階建ての東館が3階建てに増築され、総3階建てになったわずかな期間の姿。(右写真)

昭和34年 旧本庁舎本館増築

本館が4階建てに増築され、最終の形になりました。



写真：©羽田 猛氏

昭和39年 戦災復興土地区画整理事業完了

平成28年 川崎市本庁舎等建替基本計画策定

平成29年 旧本庁舎解体

令和2年5月 超高層棟新築工事着手

令和2年12月 復元棟新築工事 入札手続きスタート!

令和5年3月 新本庁舎竣工予定!!



解体直前の姿



完成予想パース

昭和13年 旧本庁舎竣工

手前(本館)が3階建て、奥側(東館)が2階建て。



解体直前の姿

復元棟の設計内容についてご紹介します。

復元棟は、情報プラザやカフェ、研修大会議室、屋上庭園等、市民の皆様が立ち寄りやすい機能を配置してにぎわいを創出します。

また、セキュリティを他の部分と分離することにより、閉庁時には官民協働の会議・イベントスペース、災害時には多目的スペースにも転用できる共用会議室を配置します。

■時計塔階段

階段手摺の人造石を一部再利用し、床や壁の人造石や上部の鉄骨階段も竣工時の姿を復元します。



■旧市長室

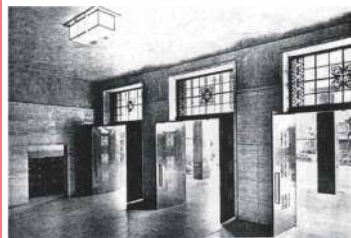
黒大理石の暖炉、フローリング、木目塗りの鉄の扉、壁の人造石を再利用します。その他、壁紙やカーテンなども可能な限り竣工時の姿に復元します。



<暖炉のグリル>

■旧正面玄関

内部壁の石材の琉球トラバーチンを再利用します。琉球トラバーチンは国会議事堂にも使われている貴重な石材です。



■展示コーナー

旧本庁舎の歴史や復元した部分の紹介とともに、旧本庁舎の棟札、基礎の松杭などを展示するスペースとします。

■旧車寄せ

外部壁の石材の黒御影石、館銘板、扉のレリーフを再利用します。



<扉のレリーフ>

■屋上庭園

アトリウムを囲む回廊から自然にアクセスできる屋上庭園を設けます。

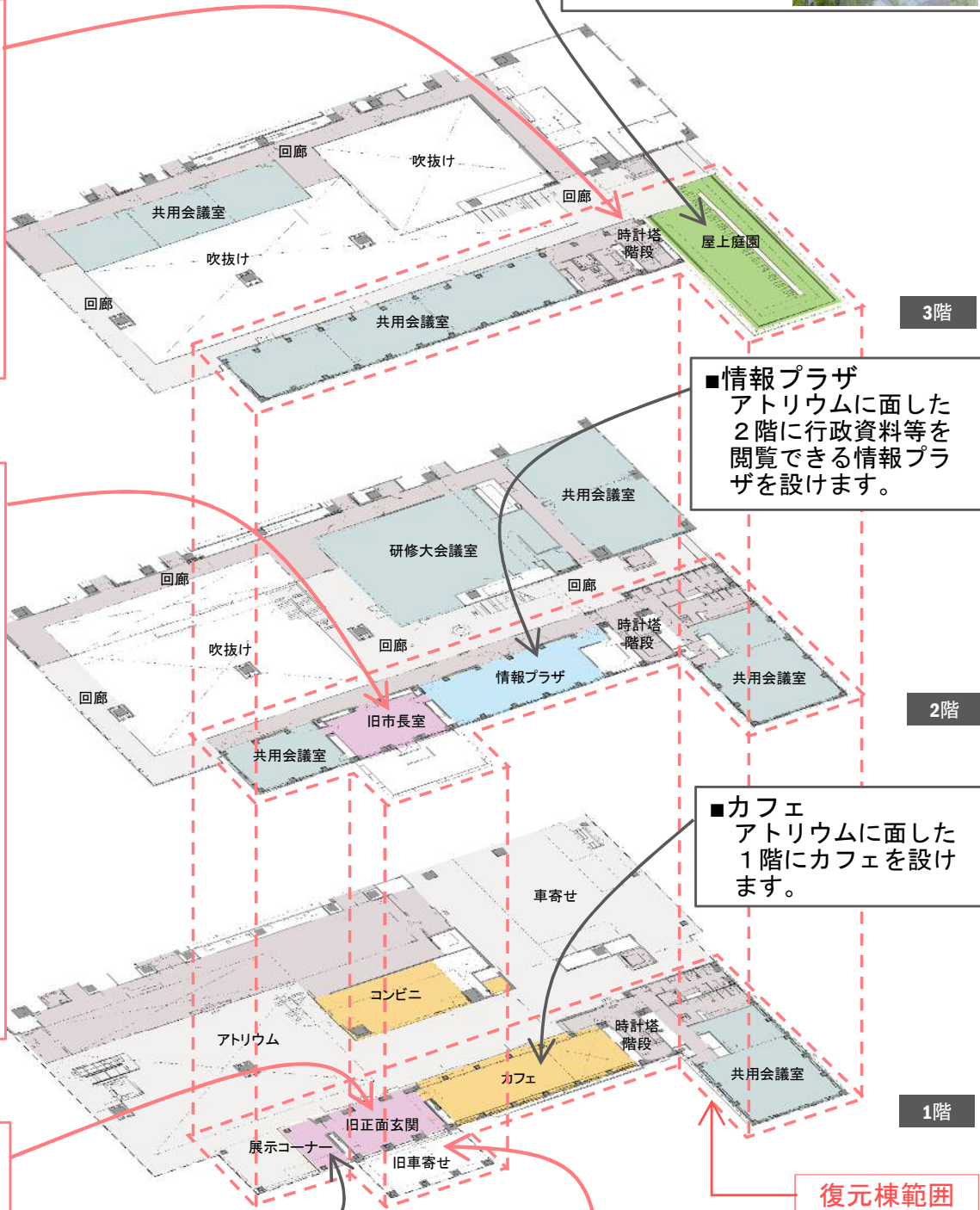


■情報プラザ

アトリウムに面した2階に行政資料等を閲覧できる情報プラザを設けます。

■カフェ

アトリウムに面した1階にカフェを設けます。



3階

2階

1階

復元棟範囲

新本庁舎の案内サインを彩る かわさきいろいろ 写真募集

～魅力ある川崎の色、見つけてください～



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

川崎市では現在、新本庁舎の案内サインのデザインに取り入れる写真を募集しています。川崎の多様な魅力が表現されているシーン（情景）の写真とし、被写体は自由です。また、どなたでもご応募いただけます。

詳細は、川崎市HP (<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000123431.html>) または、下記で配布中のチラシをご覧ください。

【募集期間】

令和3年1月15日から3月15日まで

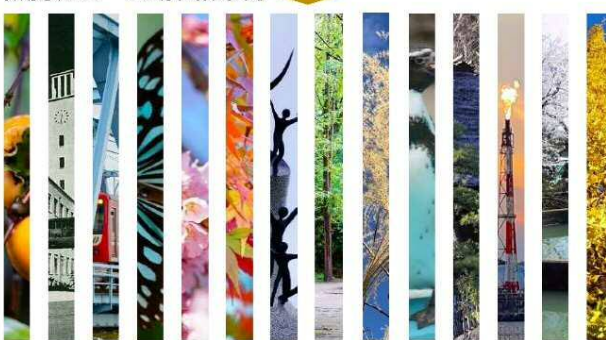
【配布場所】

かわさき情報プラザ、公文書館、各区役所・支所・出張所・図書館・市民館、教育文化会館、(財)生涯学習財団 ほか

【募集写真の使用イメージ】



採用されたシーンを切り取ります。



切り取ったシーンを案内サインの一部に取り入れます。また、切り取る前の採用写真の一覧をサインとして作成し、エントランス付近に設置して、川崎の魅力をPRします。



採用写真の一覧サインイメージ



現場北側（市役所通りとは反対側）の仮囲いに、全長5.5mにも及ぶミューラルアートが完成しました。令和元年にも市役所通り側の仮囲いに、ミューラルアートを製作して頂いたDRAGON76氏を含む5名のアーティストによる期間限定の超大作をご覧ください。

発行・お問い合わせ先



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市総務企画局本庁舎等整備推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL: 044-200-0281

FAX: 044-200-2110